

企画書

『栄光の沢村賞投手列伝』（仮）

体裁：B5／平綴じ／128P組

表1, 4(4C) 本文(2C)

発売予定日：未定

【セールスポイント】

『これが初の沢村賞本！』

数多の野球本が刊行されている現在でも、沢村賞を切り口とした媒体は未刊行。

『受賞投手はスター選手ばかり』

コンピレーション物の売り上げを左右するのはピックアップする選手のネームバリュー。沢村賞に名を連ねる投手は大物ばかりで、しかも金田正一〜ダルビッシュまでと素材も幅広く、必然的に 10〜70 代の幅広い読者層への訴求力が得られる。

『ペナントレース半ばの発売時期』

オールスター前、前半戦の趨勢が見え始めた 7 月初頭に発売することで、各球団のエースの成績も見え始め、09 年度の沢村賞の行方も意識し始める時期に発売をぶつけることができる。

『大投手 vs 大打者の世紀の名勝負をプレイバック』

投手の涙みは記録だけでは語れない。やはり大打者との名勝負があつてこそ、人々の記憶に大投手としてとどめられる。そこで、記事中にライバル対決の模様を盛り込むことで、球場やテレビで観戦していたあの頃の興奮が蘇る。

【企画意図】

プロ野球投手にとって沢村賞は、公式な賞ではないものの MVP にも匹敵する、名誉ある表彰である。12 球団の一軍でプレーし選考基準を（原則）満たす全投手を選考対象としながら、原則 1 枠という狭き門も表彰の重みを増す要因となっている。歴代の受賞投手の顔ぶれを見れば、いずれも球団あるいは球界を代表するエースばかりであり、各投手の受賞年度を中心とした活躍をまとめるだけでも充分興味を引く企画となろう。また沢村賞の榮譽に浴しながら、その後はパツとしなかった転落型の投手もあり、エースたちのその後の野球人生の明暗を分ける分水嶺としても、面白みのある企画になりうると考える。

【企画（記事）内容】

- ・ 沢村賞元年の 1947 年以降昨年までの、各年度ごとの受賞投手の活躍ぶりをペナントレース〜日本シリーズまで通年で追う
- ・ 各投手の後世まで語り継がれるエピソード・ライバル対決の模様
- ・ 沢村賞をピークに故障やアクシデントでその後思うような活躍ができなかった投手の転落の様
- ・ ドRAFT制度が制定されて以降の投手に関しては、ドラフト順位を絡めた記述あるいはデータも掲載
- ・ 沢村賞選出年度の投手の成績
- ・ 巻末に受賞投手の年度別成績一覧およびランキング形式でのデータ編を設ける

【コンテンツ案】

●沢村賞の選考基準と変遷

知っているようで知らない沢村賞選考基準と選考方法の変遷などについて。

●本編は各年代ごとにカテゴライズし、本文記事のほか受賞投手の受賞年度の成績とドラフト制度後の選手はドラフト順位を囲みで掲載。写真はスポーツ紙に貸し出しを依頼する。

●沢村賞に見放された大投手たち

大投手として後世まで名を残す大投手が誰もが獲得できるわけではないのが沢村賞。時に理不尽とも思える選考漏れのケースも含め、沢村賞に該当する活躍を見せた心に残る名投手をプレイバックする。

稲尾和久、池永正明、東尾修、山田久志、村田兆治、江川卓、石井一久・・・etc.

●沢村賞投手インタビュー

候補：江夏豊、西本聖、野茂英雄、斎藤雅樹、松岡弘、涌井秀章、前田健太

●コラム企画

- ・創設時～1980年代までパ・リーグ不遇の時代
- ・ひとりも選出されていないロッテ・阪急（オリックス）の謎
- ・データに見る最強の沢村賞投手は誰だ!?
- ・軟投派投手は選考対象にすらならない？

●類似誌

プロ野球絶対エースの豪腕伝説（宝島社）

プロ野球栄光の新人王伝説（オークラ出版）

—— 沢村賞歴代受賞投手一覧 ——

年度	投手名	チーム	登板	勝	勝率	奪三振	防御率
1947	別所昭	南海	55	30	.612	191	1.86
1948	中尾碩志	巨人	47	27	.692	187	1.84
1949	藤本英雄	巨人	39	24	.774	137	1.94
1950	真田重男	松竹	61	39	.765	191	3.05
1951	杉下茂	名古屋	58	28	.683	147	2.35
1952	杉下茂	名古屋	61	32	.696	160	2.33
1953	大友工	巨人	43	27	.818	173	1.85
1954	杉下茂	中日	63	32	.727	273	1.39
1955	別所毅彦	巨人	50	23	.742	152	1.33
1956	金田正一	国鉄	68	25	.556	316	1.74
1957	金田正一	国鉄	61	28	.636	306	1.63
1958	金田正一	国鉄	56	31	.689	311	1.30
1959	村山実	大阪	54	18	.643	294	1.19
1960	堀本律雄	巨人	69	29	.617	210	2.00
1961	権藤博	中日	69	35	.648	310	1.70
1962	小山正明	阪神	47	27	.711	270	1.66
1963	伊藤芳明	巨人	39	19	.704	166	1.90
1964	バッキー	阪神	46	29	.763	200	1.89
1965	村山実	阪神	39	25	.658	205	1.96
1966	村山実	阪神	38	24	.727	207	1.55
	堀内恒夫	巨人	33	16	.889	117	1.39
1967	小川健太郎	中日	55	29	.707	178	2.51
1968	江夏豊	阪神	49	25	.676	401	2.13
1969	高橋一三	巨人	45	22	.815	221	2.21
1970	平松政次	大洋	51	25	.568	182	1.95
1971	該当者なし						
1972	堀内恒夫	巨人	48	26	.743	203	2.91
1973	高橋一三	巨人	45	23	.639	238	2.21
1974	星野仙一	中日	49	15	.625	137	2.87
1975	外木場義郎	広島	41	20	.606	193	2.95
1976	池谷公二郎	広島	51	20	.571	207	3.26
1977	小林繁	巨人	42	18	.692	155	2.92
1978	松岡弘	ヤクルト	43	16	.593	119	3.75
1979	小林繁	阪神	37	22	.710	200	2.89
1980	該当者なし						
1981	西本聖	巨人	34	18	.600	126	2.58

1982	北別府学	広島	36	20	.714	184	2.43
1983	遠藤一彦	大洋	36	18	.667	186	2.87
1984	該当者なし						
1985	小松辰雄	中日	33	17	.680	172	2.65
1986	北別府学	広島	30	18	.818	123	2.43
1987	桑田真澄	巨人	28	15	.714	151	2.17
1988	大野豊	広島	24	13	.650	183	1.70
1989	斎藤雅樹	巨人	30	20	.741	182	1.62
1990	野茂英雄	近鉄	29	18	.692	287	2.91
1991	佐々岡真司	広島	33	17	.654	213	2.44
1992	石井丈裕	西武	27	15	.833	123	1.94
1993	今中慎二	中日	31	17	.708	247	2.20
1994	山本昌広	中日	29	19	.704	148	3.49
1995	斎藤雅樹	巨人	28	18	.643	187	2.70
1996	斎藤雅樹	巨人	25	16	.800	158	2.36
1997	西口文也	西武	32	15	.750	192	3.12
1998	川崎憲次郎	ヤクルト	29	17	.630	94	3.04
1999	上原浩治	巨人	25	20	.833	179	2.09
2000	該当者なし						
2001	松坂大輔	西武	33	15	.500	214	3.60
2002	上原浩治	巨人	26	17	.773	182	2.60
2003	井川慶	阪神	29	20	.800	179	2.80
	斉藤和巳	ダイエー	26	20	.870	160	2.83
2004	川上憲伸	中日	27	17	.708	176	3.32
2005	杉内俊哉	S B	26	18	.818	218	2.11
2006	斉藤和巳	S B	26	18	.783	205	1.75
2007	ダルビッシュ有	日ハム	26	15	.750	210	1.82
2008	岩隈久志	楽天	28	21	.840	159	1.87
2009	涌井秀章	西武	27	16	.727	199	2.30
2010	前田健太	広島	28	15	.652	174	2.21